

第7回厚生常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成29年8月18日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成29年8月18日（金）午前11時37分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
2番 大森 進次君 5番 光成 良充君 6番 保田 守君
9番 原田 素代君 13番 福木 京子君 15番 岡崎 達義君
18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 市民生活部長 作本 直美君
保健福祉部長 岩本 武明君 保健福祉部参与兼介護保険課長 藤原 康子君
赤坂支所長兼市民生活課長 黒田 靖之君 熊山支所長兼市民生活部参与 入矢五和夫君
吉井支所長兼市民生活課長 徳光 哲也君 市民課長 和田美紀子君
協働推進課長 塩見 誠君 環境課長 大窄 暢毅君
社会福祉課長 国正 俊治君 子育て支援課長 戸川 邦彦君
健康増進課長 谷名 菜穂子君 熊山支所市民生活課長 稲生真由美君
赤坂支所健康福祉課長 中永 光一君 熊山支所健康福祉課長 井本 輝夫君
吉井支所健康福祉課長 石原万輝子君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主任 細川 伸也君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（原田素代君） おはようございます。

ただいまから第7回厚生常任委員会の開会をいたします。

開会に先立ちまして、市長より挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

今日は、今年第7回の厚生常任委員会を皆様御多忙の中お開きいただきましてありがとうございます。

きょうの御協議いただく案件でございますけれども、9月定例市議会に上程予定の案件、並びに今年度の事業の進捗状況等について御協議をいただくようになります。何とぞよろしくお願ひ申し上げまして挨拶にかえさせていただきます。

なお、きょう10時50分ごろをめぐりにJ－A L E R Tの放送の訓練を行いたいと思っておりますので、委員会の途中になりますけれども、御協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

今、市長の御挨拶にもありましたように10時50分から11時5分はJ－A L E R Tの関係で休憩を入れる予定にしておりますので、審議のほう御協力ください。

それでは、協議事項に入ります。

事業の進捗状況についての説明を執行部からお願いいたします。

○市民生活部長（作本直美君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、作本部長。

○市民生活部長（作本直美君） では、事業の進捗状況といたしまして、市民生活部は資料に基づいて、まず市民課から9月議会の上程予定案件等、それから協働推進課からも同様に上程予定案件、環境課からは事業についての御紹介等をさせていただきようしております。担当課長から御説明をさせていただきます。

○市民課長（和田美紀子君） はい。

○委員長（原田素代君） 和田課長。

○市民課長（和田美紀子君） それでは、厚生常任委員会資料をめくって、1ページをごらんください。

市民課からは、平成29年9月に上程予定をさせていただいております赤磐市国民健康保険特別会計事業勘定の補正予算（第2号）について資料を用意させていただいております。

まず、債務負担行為につきましては、集団けんしん特定健康診査、国保が行っております特定健康診査の集団けんしんの事業のうち、平成30年度実施分を前倒ししまして、債務負担行為

をさせていただきます。内容は後ほど健康増進課から説明させていただきますが、計上額につきましては、今年度実施分と同様の額となっております。

次に、歳入歳出につきましては、主に前年度決算による繰越金及び6月に昨年度医療費分の実績報告を国、県に行いましたことに伴いまして、国庫負担金等の確定、また今年度の算出基準により納付金額等が決定しましたので、これにより計上させていただく予定です。

まず、歳入につきまして、①は国庫支出金の平成28年度、昨年度の療養給付費等負担金額が確定いたしました。これにより歳入になりましたので、103万2,000円を計上します。②につきましては、歳出③と関連しておりまして、社会保険診療報酬基金のほうに返還するという、これも実績報告により決定いたしましたので、これに応じた額ということで昨年度からの繰越金の一部を療養給付費等交付金繰越金として811万9,000円を計上いたします。③、こちらが28年度決算剰余金全体から先ほど申しました②に当たる部分を引きまして、当初予算もありましたので、そこも引いたものの残りが1億2,946万6,000円ということで繰越金として歳入をいたします。

歳出に参りまして①です。これは、歳入の負担金確定に伴う財源更正ということになりまして、充当を一般保険者療養給付費のほうに充てることとなります。②、これは前期高齢者納付金の今年度の納付金額が決定しまして、不足分を計上させていただきます。③、これが療養給付費等交付金確定に伴う精算ということで返還金が確定いたしましたので812万円を計上いたします。④は歳入に対して歳出を引きまして、財源調整ということになります。

次に、平成29年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について御説明します。

こちらの歳入歳出も、前年度決算による繰越金の計上になります。

歳入が平成28年度決算による前年度繰越金の増額292万6,000円、歳出はこれによる財源調整の予備費、計上で同額になります。

説明は以上です。

○協働推進課長（塩見 誠君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、塩見課長お願いします。

○協働推進課長（塩見 誠君） それじゃあ、先ほどの市民課の次のページ、2ページ、3ページの資料をごらんいただければと思います。

協働推進課より、9月の議会の提案予定の案件につきまして御説明をさせていただきます。

今回、人権擁護委員の推薦ということで、2名の方をお願いするものであります。人権擁護委員さんの任期といたしましては3年でございまして、今回の任期につきましては来年、平成30年1月1日から平成32年12月31日の予定であります。

お手元の資料の3ページの表をごらんいただければと思いますが、そこに人権擁護委員さんの一覧表を載せております。現在、14名の方を赤磐市内では人権擁護委員さんということでお

世話になってます。その表の中の10番であります、内田恵子さんにつきましてはことしの5月31日をもって辞任をされておられます。その関係で、後任としてこのたび伊永正道さんを予定をさせていただいております。下に参りまして、11番の北牧哲夫さんにつきましてはことし平成29年12月31日をもって任期満了ということで、体調不良等がございまして交代をしてほしいというような御要望もございました関係で、後任といたしまして山本やよいさんを予定をさせていただいております。

2ページに戻りまして、それぞれの候補者の方の略歴のほうを説明をさせていただきます。

まず、伊永正道さんにつきましては、赤磐市の勢力にお住まいで現在67歳でございます。岡山県信用保証協会にて勤務をされまして、その後勢力の区長さん、熊山地域の区長会長、赤磐市人権教育推進委員などをなされておられました。今回、新任の予定でございます。下に参りまして、山本やよいさんにつきましては、赤磐市可真上にお住まいで現在68歳でございます。熊山町役場と現赤磐市役所に勤務をされておりました。今回、新任の予定でございます。このお二方につきましては人権につきましても御理解もあり、本人からも内諾をいただいておりますので、9月の議会のほうで推薦をさせていただければと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。

説明は以上で終わります。

○環境課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） それでは、環境課から御説明をさせていただきます。

先ほどの資料、続きまして4ページのほうをごらんいただきたいと思います。

本年度からの新たな取り組みといたしまして、そこにありますようにフリーマーケットを中心としたリサイクルフェアを開催いたします。その御案内をさせていただきます。

従来から環境センターにおきましては、ごみの焼却だけでなくリサイクルプラザの事業を中心とした環境に関する教育でありますとか、ごみの再生、減量化に対する啓発など、さまざまな取り組みを行ってきているところではございますが、それを市民の方などにさらに実際に参加、実践していただくことを通じまして、より関心や知識を高めていただけるよう今回この企画をいたしました。日時は9月30日土曜日午前10時から午後3時まで、場所は赤磐市環境センターの南側芝生広場におきまして、市民によるフリーマーケットのほか、紙すき体験や施設見学等も実施いたします。また、当日は心ばかりではございますが、子供さんへのプレゼント等も用意する予定でございます。ここでなお、メインのフリーマーケットにおける出店希望がこの朝現在のところ8件ほどでございまして、まだまだ予定の30件に達しておりません。申込期間がこの8月いっぱいさせていただいていることもありまして、ぜひ委員の皆様にも地域での会合とか、それから市民の方々とお話する機会等ございましたら、募集につき御善処いただけると幸いと存じます。御協力のほどよろしくお願いいたしたいと思っております。また、次の5

ページから6ページにこのフリーマーケットの募集に係る実施要項を示させていただいております。そのほか詳細につきましては、また後ほどでもこの要項をごらんいただきまして、何かございましたら環境課もしくは環境センターまでお問い合わせ等いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたしたいと思います。

以上、環境課からのお知らせとお願いでございます。

○委員長（原田素代君） 市民生活部は以上でよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） 委員の皆さんのほうから、今の報告についての御質疑がありましたらお願いします。

保田委員、どうぞ。

○委員（保田 守君） これフリーマーケットは、どこへ言やあええん、申し込みは。

○委員長（原田素代君） はい、大窄課長。

○環境課長（大窄暢毅君） どこにといいますのは、申し込みでございましょうか。

○委員（保田 守君） はい。

○環境課長（大窄暢毅君） 申し込みは、環境センターのほうが原則ですが、環境課のほうにいただいても構いません。

○委員長（原田素代君） いいですか。

ほかにはないですか。

私のほうからも何点か。

フリーマーケットのことなんですけど、フリーマーケットっていうのはフリーなんですよ。ここでは出店商品についての決まり事があって、食品、それから手づくり品、生き物などが販売できないというふうに書いてあるんですが、通常環境センターのリサイクルセンターの中にあるものとダブるものが出て、フリーマーケットとしての魅力がどこまであるのかなって思うんです。だから、例えば手づくりクッキーだとか、農産加工品であるとか、ジャムをつかったとか、そういったものが出るから人が来るんで、フリーマーケットとしての付加価値がちょっと弱いなっていうのを感じています。

それからもう1つ、6ページのところの15番の一番下に、ペット同伴禁止になってるんですけど、今どきペット同伴の方は大変多いので、いわゆる小型の犬なんか、でもこれはもう禁止して入らないでくださいって言うのかどうか。もうちょっと柔軟に、フリーマーケットであるのであれば、魅力のあるフリーマーケットを企画していただければ、もうちょっと参加者もふえるんじゃないかという老婆心ではございますが、思っております。参考にしてください。

結構です。

それでは、市民生活部のほうについては、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君）　じゃあ、次をお願いします。

○保健福祉部長（岩本武明君）　委員長。

○委員長（原田素代君）　はい、岩本部長お願いします。

○保健福祉部長（岩本武明君）　本日の資料といたしましては、9月議会での上程予定案件、それから事業の進捗状況につきましてそれぞれ担当課長より報告をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○委員長（原田素代君）　はい、戸川課長。

○子育て支援課長（戸川邦彦君）　それでは、保健福祉部の資料の1ページをごらんください。

子育て支援課から平成29年9月議会上程予定案件について説明させていただきます。

まず、(1)番です。赤磐市立保育所条例の一部を改正する条例でございます。

こちらのほうが平成29年10月に開園を予定しております赤坂ひまわりこども園の開園に当たりまして、現在運営しております赤坂地域の公立保育園3園につきまして、赤磐市立保育所条例の中の名称及び位置を定める表から削除させていただきまして、閉園の運びとなる予定となっております。それとあわせまして、今年4月から赤坂地域の3保育園におきまして、幼稚園の子供さんを特例的に受け入れをさせていただいております。その特例的に受け入れていた幼稚園児にかかわる保育料の規定につきましても、ここで廃止をさせていただく予定となっております。

(2)番、赤磐市立保育所型認定こども園条例につきましてです。

赤坂ひまわりこども園の開園に当たりまして、施設の設置に関する必要な事項を定める条例を制定する必要があります。こちらのほうにつきまして、名称及び位置につきまして条例で定めさせていただくようになります。赤磐市立赤坂ひまわりこども園で、こちらのほうが町茹田の518番地となります。

3番目です。こちらのほうは、29年度の一般会計の補正予算（第3号）となります。

先に、歳出のほうから説明させていただきます。

こちらのほうが、民生費の児童福祉費でございまして、負担金及び交付金としまして放課後児童クラブの補助金の補正を計上しております。こちらのほうの補正につきましては、放課後児童クラブが1クラブ増設されています。今のところ、放課後児童クラブは、赤磐市で18クラブとなっております。そのうち、吉井の2クラブが直営で運営しておりますので、こちらの補助事業としては16クラブを対象に実施をさせていただいております。こちらのほうが1クラブ増設費用が1,000万円ぐらい運営費が年間に補助金として支出されております。1,700万円につきましては、その残り七百数十万円につきましては、今まで運営しておりました放課後児童クラブ残りの15クラブにつきましても、基準額が少し国のほうが引き上げをされております。大体50万円前後、各クラブ、基準額が引き上げになっております。当然、支出額が伴う場合に基

準いっぱいまで補助金を出させていただいておるものですので、そちらのほうも基準額の上昇分と1クラブ新設ということで1,779万7,000円。

それからもう1つ、新しい事業を展開する国のほうが定めてきております。こちらのほうがキャリアアップ助成事業の新設ということで、放課後児童クラブの支援員の資質向上ということで、特定の研修を受けていただいてその指導員さんにつきまして人件費部分を上乘せして各クラブが支払いされる場合、その上乘せした人件費について助成をさせていただくという事業でございます。こちらのほうが16クラブありますが、要望を事前にとらせていただきました。10クラブが要望されております。その基準額満額が86万8,000円、年額でございますので、10クラブ分、868万円を計上させていただいております。合計しますと、2,647万7,000円の補正予算となります。こちらのほうの財源についてですが、国3分の1、県3分の1、市の持ち出しが3分の1という事業でございます。

それから2番目、事業の進捗状況についてです。

事前に御案内もさせていただいておりますが、赤坂ひまわりこども園の建設事業につきまして、竣工式を計画しております。こちらのほうが、8月26日の土曜日となります。竣工式は10時からの予定でございますが、一応集合時間は10分前をお願いをさせていただいております。会場につきましては、赤坂ひまわりこども園の中の一番大きな遊戯室兼ランチルームという広い部屋になっております。その後、竣工式の後、午後からは自由に見学していただく見学会として、1時半から4時までの時間をとって一般の見学を受け入れることとしております。こちらのほうの案内につきまして、赤坂地域につきましては事前に広報とあわせてチラシを配らせていただきました。全市につきましては、山陽新聞さんのほうへ取り上げていただきまして、広くPRさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） 健康増進課からは、2ページを開いていただきたいと思っております。2ページから御説明させていただきたいと思っております。

まず、9月議会定例会上册予定案件について御説明させていただきたいと思っております。

(1)番といたしまして、赤磐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例ということで、新たに診療所嘱託薬剤師報酬を追加し、嘱託医師報酬の表記の見直しを行うものでございます。これは薬剤師さんが今回正規で採用されたんですが、今まで薬剤師、なかなか募集しても来られなかったということで、体制の整備をここでやりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

それから、(2)番といたしまして、赤磐市複合型介護施設の指定管理の指定を行いたいと思っております。これは、対象施設名は赤磐市複合型介護福祉施設で、指定管理者といたしまし

て代表団体は岡山市中区祇園にあります社会福祉法人昭友会さんです。構成団体といたしまして、関連の医療法人たくふう会、それから株式会社エルダー、それと株式会社岡山スポーツ会館、それからOSKヘルスプロモーションということでもあります。こういう構成団体で指定管理を行いたいと思います。よろしくお願ひします。それから、指定期間といたしましては、平成31年4月1日から平成36年3月31日までということでございます。

(3)番といたしまして、平成29年度赤磐市一般会計補正予算(第3号)といたしまして、債務負担行為集団けんしん事業が3,014万5,000円ということでございます。これは先ほど、国民健康保険の特定健診のところでも御説明がありましたが、集団けんしん事業をここで見直したいと思います。そういったことで、後からまた資料として詳しく御説明したいと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。それから、歳出といたしまして、民生費、社会福祉費、高齢者福祉費の訪問看護ステーション事業特別会計の繰出金、それから衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費の国保診療勘定の繰出金がございます。

また、(4)番といたしまして、平成29年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、熊山診療施設勘定と佐伯北・是里診療施設勘定があります。熊山診療所につきましては歳入といたしまして、一般会計の繰入金が2,637万7,000円、繰越金のほうといたしまして2,952万5,000円でございます。3ページに移りまして歳出のほうですが、総務費、施設管理費、一般管理費の一般管理費で往診車の購入を行いたいと思っております。往診車が非常にもう古くって何回も故障が続いておりますので、ここで購入をしたいと思っております。今までは普通車だったんですが、往診をするのに細い道もございまして、そういったことで軽四の自動車を購入したいと考えております。また、医業費のところ、医療用機械器具費といたしまして、半錠器、身長体重計の購入を行いたいと思います。半錠器というのは、薬局で今は錠剤を1回分を半分に割って手作業で行ってるんですが、今の時代なのでなかなかそういったことが難しくってここで購入させていただきたいと思っております。それから、佐伯北・是里診療所ですが、一般会計の繰入金といたしましてマイナス1,760万3,000円、それから繰越金といたしまして、1,812万2,000円を計上させていただいております。歳出といたしましては、医業費の医療用機械器具費といたしまして、肺機能診断装置の購入を行いたいと思います。これは肺活量計のようなものでして、故障をいたしまして購入させていただいたらなというふうを考えております。

(5)番といたしまして、平成29年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第2号)といたしまして、歳入が一般会計の繰入金、マイナス924万7,000円、繰越金が924万7,000円でございます。

2番といたしまして、事業の進捗状況の御説明をしたいと思ひます。

旧赤磐市民病院再利用事業選定支援業務といたしまして、1番の運営事業者の選定結果別紙1ということで、次のページをごらんいただきたいと思ひます。主なところだけ御説明させて

いただきたいと思います。運営事業者の選定につきましては、8月7日にホームページで掲載しております資料を今回資料提供させていただきました。6ページ、7ページは選定委員会と審査方法といったものを載せております。ごらんいただきたいと思います。審査体制といたしましては、市の職員をもって充てております。

次、開いていただきまして8ページ、応募者ですが、応募者は前回もちょっと御説明させていただいたんですが、公募を受け付けたところ、5者の応募がありましたという状況です。それで、9ページのところに審査結果を載せております。審査結果は、基礎審査で提出された書類がどうかというようなチェックをまずさせていただいております。

また、10ページ、11ページですが、提案審査といたしまして読んでみます。提案内容審査では以下のとおり、内容審査と価格審査の2つの面から評価を行いました。提案内容の評価点が80点満点、提案価格の評価点が20点満点の合計100点満点で評価を行っております。次の内容審査の審査員の平均点数をここで上げております。また、次のページの11ページには価格審査といたしまして、価格審査の計算の仕方をここで表記しております。それで、その結果といたしまして表の3のところに載せております。

次のページを開いていただきますと、12ページ、総合評価です。総合評価といたしましては、内容審査及び価格審査の評価による得点の和が最も高い提案を最優秀提案として、2番目に高い提案を次点として選定いたしました。最優秀提案は、先ほど御紹介した社会福祉法人昭友会グループ、それから次点といたしまして有限会社創和さんという結果でございました。ほかの5者もここで参考に総合評価結果を載せさせていただいております。

3-3ですが、選定結果のまとめといたしまして、上段のあたりは、今までも御説明させていただいております。中段から読みたいと思います。最優秀提案となりました社会福祉法人昭友会グループは、介護報酬の加算など介護保険制度の活用を踏まえた堅実な収支計画のもと、小規模多機能型居宅介護のサービス品質に関する具体的な提案やグループ構成員、株式会社岡山スポーツ会館等による多様な介護予防事業の提案、また代表企業のグループ会社の組織力を生かした有資格者の確保、育成、危機管理や衛生管理の充実など事業の安定的な実現や今後の介護保険事業に係る法令改正等を踏まえた事業展開を感じさせる提案がなされておりました。提案サービスAにつきましては、サービス付き高齢者向け住宅及び居宅介護支援事業者が、提案サービスBについては共同生活援助、障害者のグループホームが提案され、今後需要の増加が見込まれる分野についての提案を含む民間事業ならではの提案であったと考えます。

以上のとおり、選定委員会において、社会福祉法人昭友会グループが最優秀提案者として選定されましたが、審査結果を見ると上位3者の総合評価得点は僅差でございました。提案に対するさらなる検討を望む声もありましたということで、付記事項ということでつけ加えさせて協議させていただいております。小規模多機能型居宅介護においては、市は重症者の受け入れも積極的に行うことを期待しております。社会福祉法人昭友会グループの提案にある本事業で

の入所（利用順位評価基準）について市と協議の上、今後具体化すること、平成30年度の介護保険法の改正を踏まえた共生型サービスを想定した提案になっているが、今後の法令改正等の動向を踏まえ、市と協力し、柔軟な対応を図ることといったようなことを参考にだけ見たらと思いますが、そういったことでホームページに掲載させていただいております。

次に、事業の進捗状況の(2)、集団けんしんの体制の見直しについてということで、14ページのほうをごらんいただきたいと思います。集団けんしんの実施体制の見直しについて、目的といたしましては現在実施している集団けんしん事業をまとめて受診できるように体制整備を行うことにより、受診回数が少なくなり、受診者の負担を軽減することを目的に見直しを行います。大きいくりを見ていただきますと、集団けんしんですが、現在というところの下を見ていただきますと、現在1から5までのような組み合わせで市内実施しておりますが、それを来年度からは大きく2つの組み合わせと、それから肺がん検診だけはどうしても人数とかを出してみますと、単独で肺がんだけ受けたいというような方もかなりおまして、そういった方は単独の検診に来ていただけたらというような方式で事業を展開できたらなというふうに考えております。

また、一番端に個別けんしんというところがありますが、これは今年度から積極的に医療機関に市が行うけんしんも委託しております。これも同時に、今までどおり個別けんしんの委託を医師会のほうに委託をして実施したいと考えております。

2番目といたしまして、けんしん会場と実施回数の見直しですが、①番といたしまして各地域2カ所の拠点会場で原則として実施したいなというふうに、今調整をしているところでございます。駐車場等もこれだけたくさんの集団けんしんをまとめてやるので大きな検診車が何台か来ますので、ある程度駐車場のスペースがある会場を今検討しているところでございます。

それから、②番といたしまして、肺がん結核検診は現在実施していない単独で実施をします。けんしん日数等は以下のとおりですということで、トータル回数と一番下にあります。現在は、127回が今度76回というふうになります。見方がちょっと難しいかなと思うんですが、例えば一番上の子宮頸がんを見ていただきますと、現在は26回ですが、まとめたけんしんで行いますと、チャンスは今度は30回同時実施となっておりますので、30回、市民の皆さんに提供できるということです。ですから、けんしん会場は今まで小回りをしてたんですが、拠点のところに回数がふえますので、そこに来ていただいたら今までより回数が、大腸がんだけは少なくなるんですが、どのけんしんもふえるようになっております。

このようなよその市町村等とも何年か協議をしてるんですが、こういったまとめたけんしんをしたら受診率が上がってる市町村が多いというような実態も聞いておりますので、赤磐市もこういうふうに進めていけたらなというふうに考えているところでございます。

それでは、(3)の佐伯北診療所改修事業について説明をしたいと思います。

現在、佐伯北診療所の改修工事について実施設計業務の委託事業所ですが、指名競争入札に

より7月18日宮崎建築設計事務所に決定いたしました。履行期間は、7月25日から9月29日までとしておりますので、御報告したいと思います。

それともう1つ、きょう急なんですけど、資料のほうを用意しております。7月27日について最近ホームページにアップされました旧赤磐市民病院再利用事業に係る設計建設事業者の選定の実施方針ということで、今度は運営事業者が決定いたしましたので、すぐまた設計建設事業者にできるだけ早く事業に取り組みたいと思ひまして、アップしております。説明会のほうを28日に、それは現場を見ていただくという説明会をさせていただいております。その資料を御用意しておりますので、参考できょうお配りさせていただきましたので、これの正式な最終的な募集要項は9月上旬に募集要項、要求水準書等の公表を行う予定で準備しております。

健康増進課からは以上です。

○保健福祉部参与兼介護保険課長（藤原康子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、藤原課長。

○保健福祉部参与兼介護保険課長（藤原康子君） 済いません、資料のほう15ページをお開きください。

9月議会の議案として介護保険課から上げさせていただくことにつきまして、説明させていただきます。

1、平成29年9月議会定例会上程予定案件についてですが、まず平成29年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）によるものですが、歳入は平成28年度の精査によるものが主で、歳出は介護保険特別会計繰出金と地域包括ケアシステム構築促進事業における消耗品費を計上させていただいております。この地域包括ケアシステム構築促進事業につきましては、県補助金の10分の10の補助がございます。

2番の平成29年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第1号）についてですが、まず保険事業勘定でございますが、歳入では一般会計繰入金のうち、その他の一般会計繰入金につきましては、事務費を増額補正させていただきます。また、低所得者保険料軽減繰入金につきましては、過年度分低所得者保険料国庫負担金の追加、そして繰越金の確定に伴う追加などで合計1億4,618万2,000円を追加させていただけたらと思ひます。歳出につきましては、一般管理費、事務費、事務員賃金の増額、介護給付費、準備基金積立金、国県支出金の精算返還金、一般会計への精算返還金を計上させていただいております。個々金額につきましては、資料のとおりでございます。

次に、サービス事業勘定につきましては、平成28年度決算に伴う繰入金が確定いたしましたため、653万8,000円を追加させていただくものでございます。歳入歳出につきましては、資料のとおりでございます。

以上、簡単ですが、報告させていただきます。

○委員長（原田素代君） 以上ですか。

○保健福祉部参与兼介護保険課長（藤原康子君） はい。

○委員長（原田素代君） 保健福祉部の、これから質疑に入るんですが、きょうは2ページの熊山の複合型介護福祉施設の指定管理の指定及び今後の設計、建設について別途議論したいと思うので、最初にこの(2)以外で御質疑をしていただいて、(2)のところは後で十分やりたいと思ってますので、皆さんのほうからの御質疑は(2)を除いたところでありましたらお願いします。

ございませんか。

福木さん、ありますか。

○副委員長（福木京子君） いいですか。

○委員長（原田素代君） はい、副委員長。

○副委員長（福木京子君） ちょっと、山陽団地で保田委員が聞かれんから、ちょっと私が聞いときます。

集団けんしんのページの、何か各支所2カ所で絞ってけんしんをするということ。

○委員長（原田素代君） 14ページ、14。

○副委員長（福木京子君） 14ページですね。それで、山陽地域では中心のここの中央公民館と桜が丘いきいき交流センターということなんですけど、山陽団地も今までしてたんですが、駐車場のそれこそ説明で、駐車場の件で厳しいんじゃないかということで、山陽地域も2カ所に拠点を絞るということがあったんですが、駐車場が狭いからもうそりゃしょうがない、人数的には山陽団地地域でもぜひしていただきたいと思うんですが、駐車場の件とかそういうできる受け入れのあれが整えば、またしていただきたいとは思いますが、今回は難しいかなというふうに思って、意見は言っておきたいと思います。

○委員長（原田素代君） 答弁いいですか。

○副委員長（福木京子君） まあ、それは。ちょっと答弁お願いします。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） 現在、そのあたりを例えばなかなか足がない方とか、そういった方っていうのは非常に私たちも懸念しておりまして、ことしから個別けんしんで地域の先生とか、それからかかりつけ医の先生でできるだけ個別けんしんで受けていただけるような体制整備も同時に整えているところでございます。特に高齢者の方は大抵の方がかかりつけ医の先生をお持ちですので、そういった実態とか、それからもう1つは昨年度山陽地域だけなんですけど、けんしんに来られた方のアンケート調査をしたんです。そしたら、100%までは行かなかったんですが、九十数%、どのけんしんも何とか自分で中心部とかだったら来れるというような御意見をいただいたということもありますので、それと例えば山陽団地で子宮がん検診のときにアンケートをとって見たんですが、そうしますと地域の方っていうのは案外少なかったんです。皆さん、自分の曜日の都合のいいときとか、そういったところで例えば保健セ

ンターに来られたりだとか、それから山陽団地の方が保健センターに来られてたりだとか、西山の方が高月に来られたりだとか、結構地元の方という割合が思ったほど多くなかったというような結果もございまして、それぞれのエリアエリアで2カ所ぐらいつくれば、何とか皆さん移動していただけるのかなと。それと、公共機関のバスとかそういったところの時間帯とか曜日とかにできるだけ合わせて受け付け時間等も考慮していきたいと今考えているところでございます。

○委員長（原田素代君） その他ありませんか。

私のほうからちょっと1つ、1ページ目のひまわりこども園ですが、報告の中に遊具の問題と交差点改良のことがなかったので、26日の竣工式までに間に合いそうもないということでしたから、きちんとここで説明を求めたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、戸川課長。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） まず初めに、交差点改良の工事につきましてです。

こちらのほうは、交差点の、今、設計で発注したものに関しては、ほぼおおむね完了しております。実際、現場のほう、私も行って確認しておりますが、赤坂健康管理センターへの入り口について地域座談会でもお話がありました。その入り口については、今現在工事で実施しているものに関して、多少入りにくい部分が生じておりますので、これについてはまた新たな対策を講じていきたいと考えております。できましたら、市のほうと、それから健康管理センターのほうと協議しまして、歩車道境界ブロックの一部を取り外しができたらと考えております。

それからもう1点、ひまわりこども園の遊具についてでございます。

こちらの遊具の建設工事のほうの一部発注を試みたんですが、入札が不調になっております。再入札をここで考えております。指名委員会を本日急遽予定をさせていただいて、発注に向けて進んでいるところでございます。こちらのほうの遊具の業者がまた入札で決まりましたら、工期については詰めていきたいと考えております。その中で、9月末をもって完了するものについては、部分引き渡しを受けてでも子供さんが使えるような状態にしていきたいと考えております。10月1日以降になるものがあれば、そちらについては工事の安全をきちっと確保した上で工事を遂行していただくという形で仕様書にうたわしていただく予定としております。

以上です。

○委員長（原田素代君） 交差点改良のことでは、縁石を切るということとゼブラゾーンを設けていただいて、支所から出る、交差点で感知式信号に出る車が1台とまった後は、ゼブラゾーン敷いていただかないと、外から健康管理センターに入る間がとれませんかから、ゼブラゾーンのことにも検討していただくということよろしいのでしょうか。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、戸川課長。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） ゼブラゾーンを先ほど委員長が申されたとおりなんです、一応ゼブラゾーンになるかどうかというのはここではごめんなさい、確定ではないので申し上げられないんですが、何らかの形で2台目の車が空間をあけてとまれるような表示を考えております。交差点ですので、交通規制がかかってくるので、簡単に交通規制がかかるような表示ができないので、もしかしたら交通規制とは関係ないような赤い四角であるとか、白地にバツェンであるとかというような形になるかもしれないんですけど、検討させてください。

○委員長（原田素代君） 工事のほうの完了見込みというか、予定はどのぐらいだと思っていんですか。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、戸川課長。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） その工事につきましては、歩車道境界ブロックの取り外しとあわせて路面標示ですので、実際の工事自体はそんなに日数はかからないと思うんですが、今申し上げたとおり交差点ですので、いろんなところへ協議をさせていただきたいと思っています。その期間を幾分か設けていただきまして、できるだけ早い時期に実施したいと思えます。10月1日の開園については当然間に合わすつもりでおりますので、よろしくお願ひします。

○委員長（原田素代君） わかりました。

それでは、途中ではございますが、時間になりましたので11時5分まで、ただいまから休憩をとらせていただきます。よろしくお願ひします。

午前10時50分 休憩

午前11時5分 再開

○委員長（原田素代君） 休憩前に引き続きまして質疑を進めたいと思えます。

最初に申しましたように、(2)の複合型介護福祉施設について以外のところでの質疑をお受けするということでしたが、途中になりました。さらに皆さんのほうからございませんか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、(2)の赤磐市複合型介護福祉施設の指定管理者の指定の報告がありました。このことから、質疑を受けたいと思えますが、最初に私のほうから実はこの委員会に向けていろいろ情報が飛び交いました。私もどういふ事実経過があるのかを確認をしたいと思っております。おとといの打ち合わせの時点でも不審な点が幾つかあるのだというやりとりをしております、担当部長や担当課長のほうと。その辺のことを委員会で共通認識を持ちたいと思っております。事態が正常にちゃんと機能してるのかどうか、委員会で十分な議論

をきょうはしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいとまず思ってることをお伝えします。

最初に、皆さんのほうから、とりあえず率直に御質問などありましたらお受けしますが、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君）　じゃあ、私のほうからいろんなお話が飛び交っておりまして、その中から幾つかお尋ねしようと思いますが、この2ページのまず今回の保健福祉部の報告書ですけども、代表団体があつて、その下に構成団体が4つあります。これは、この団体はどういう一体団体なのかというのが非常にわかりにくい。まず、代表団体の社会福祉法人昭友会さん、理事長の菅原さんのもと、この構成団体のそれぞれの内容です、業務の。それから、どういう関係で、この昭友会さんが構成団体を束ねていらっしゃるのか。まず、そこを説明願ひたいと思います。

○議長（金谷文則君）　はい。

○委員長（原田素代君）　はい、どうぞ。

○議長（金谷文則君）　議案の内容には触れないのが、これ上程されるやつの内容じゃろ。

○委員長（原田素代君）　議案の内容というよりも報告について質疑をすることは、可能だと思つてます。

○議長（金谷文則君）　十分認識の中でやっていただけたらと思つてますので、よろしくお願ひします。

○委員長（原田素代君）　はい、はい、はい。

それでは、お願ひします。

○健康増進課長（谷名菜穂子君）　はい、委員長。

○委員長（原田素代君）　はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君）　それぞれが今行つてる、どういった、行つてる事業がということで、御質問でよろしいんでしょうか、それぞれの構成団体の……。

○委員長（原田素代君）　そうですね。

○健康増進課長（谷名菜穂子君）　事業を御説明させていただいたらいいでしょうか。

○委員長（原田素代君）　もう一度確認をしますが、運営事業所を募集したわけですね、市は。この運営事業所は、この事業を進めますということで決められたんでしょ。普通、この事業所っていうのがこの昭友会さんかなと思つてたら、構成団体があるわけですよ。だから、昭友会さんと構成団体の関係っていうのがわからないと、どこが受けて何をするのかがわからない、そういう意味で聞いてます。

○健康増進課長（谷名菜穂子君）　はい、委員長。

○委員長（原田素代君）　はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） それでは、ここに表示されております5団体についての関係性というのを御説明させていただきたいと思います。

代表団体の昭友会さんから3つまでは関連の事業所さんです。今回、熊山に複合型介護施設でございますので、一番上の代表団体さんの社会福祉法人昭友会さんは主に介護施設系のことを行っております。小規模多機能とかそういったところも昭友会さんが中心に行っております。それから、2番目にあります医療法人たくふう会さんは診療所関係でございます。同じ関連の事業所さんです。それから、3番目のエルダーさんも、これは有料老人ホームとそれから配食サービスのことをエルダーさんのところで行っております。そういったことで今後熊山ではその3団体は関連して介護福祉関係の事業っていうのは、この3団体が主に協力して実施するというような構成で出されております。また、一番下の2団体の岡山スポーツ会館さんとOSKヘルスプロモーションさんが1つの介護予防を中心に行うということでOSKヘルスプロモーションさんが中心になって行うという関係団体ということで、介護予防は介護保険を中心とした事業所なので、介護予防っていうことになりますとなかなか得意じゃない分野もあるということで機能的に進めていくためにということで、OSKさんと昭友会さんのほうが手を組んで公募をしたという形でございます。

○委員長（原田素代君） 最終的な統括責任者は、代表団体である昭友会の菅原理事長になるというふうに理解したらよろしいのでしょうか。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい。

○委員長（原田素代君） 谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） そうです。

○委員長（原田素代君） もう1つお尋ねしますが、介護予防で岡山スポーツ会館、OSKヘルスプロモーションさん、それぞれ民間の企業でらっしゃいますけど、ここと今回のこの事業の中で料金設定っていうのは民間会社が入っても、昭友会さんが赤磐市と契約を結んだ料金におさまると思っていいんですか。要するに、一般的にOSKさんのクラブに所属するという形になるとか、民間企業として独自に介護予防をこの施設でおやりになる予定なのか、そうでなくて昭友会さんとして全体のプログラムの中の一つの事業として組み込まれているものなのか、そこをちょっとお尋ねしたいです。

はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） どちらもあります。公設民営の関係で事業を指定管理で進めていきますので、介護予防事業を進めていくときに例えば認知症カフェみたいなものがやりたいとかといったときには、そういったことは昭友会さんのほうがむしろ得意だから昭友会で頑張る昭友会が中心になって独自でやりますと。ただ、OSKのほうは運動機能だとか、これからの介護予防を中心としたような事業ですと、やはりOSKのほう得意なので、OSKが独自でその介護予防施設といいますか、介護予防スペース、地域交流スペースを使って、

しっかり市民の皆様にサービスを提供していくというような形で事業を実施するというところでございます。

○委員長（原田素代君） いや、だから私が聞いているのは、そうするとOSKさんの料金にならないですかということを聞いているんです。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） OSKが主体で実施するのは、OSKの料金になります。OSKが独自で事業を進めるものもあれば、例えば介護予防事業だとか、これから保健事業だとか、そういったあたりを現在も一部いろんな公民館や保健センターでOSKとか、いろいろな事業所に委託契約を結んでやってるんですが、そういった形の事業をこの会場で市民の皆さん向けに講座としてやっていただいたりとか、そういったことはOSKが中心となって事業を展開していただく予定でございます。いろいろです。

○市長（友實武則君） 委員長、委員長、済みません。

○委員長（原田素代君） どうぞ、市長。

○市長（友實武則君） 確認がありますので、暫時休憩をちょっと入れてください、済みません。

○委員長（原田素代君） ああ、そうですか。

はい、どうぞお願いします。

午前11時14分 休憩

午前11時20分 再開

○委員長（原田素代君） それでは、暫時休憩から戻ります。

質疑を続けますが、御答弁のほうを、じゃあ続きをお願いします。

○保健福祉部長（岩本武明君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、岩本部長。

○保健福祉部長（岩本武明君） 今回の複合型介護福祉施設の件でございますけども、あくまで建物の所有権は市にございます。昭友会は窓口というのがそこを束ねるところが1カ所です。OSKはそこの中で介護予防のところを担当するという立ち位置でグループを組んでいるものでございます。

○委員長（原田素代君） それだけ。

ちょっと、さっきの谷名課長の答弁から後退しちゃったけど。

○保健福祉部長（岩本武明君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、岩本部長。

○保健福祉部長（岩本武明君） 先ほどの谷名課長の説明では事業者が2業者分かれてるような御印象を持たれたかと思うんですけども、あくまで事業者は昭友会が1者でございます。訂正させていただきたいと思います。

○委員長（原田素代君） わかりました。

今、事務局長のほうから、議論は本来のテーブルは9月定例議会の委員会ですでにいただいたということで指導が入りましたので、一応9月定例議会でもう一度改めてしようと思いたしますが、一つだけ確認をしたいのですが、きょうわざわざ設計・建設の、7月27日に出した設計・建設事業者選定のあれを出してもらいました。ここの中に、11ページのところです。11ページの3番、応募者の構成及び資格等の中に5番が入ってます。5番は何が書いてあるかというのと、応募企業または応募グループは別途市が選考して公募する、旧赤磐市民病院再利用事業に係る運営事業者により選定された介護保険事業者等に対して、本事業について意見交換等の接触をすることを禁じる、本事業の介護保険事業者等の関与が疑われる場合、本公募により選定された応募企業または応募グループの選定を取り消す場合があるというふうに書いてあります。これについては、担保されてるかどうかということを確認したいと思いたします、いかがですか。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） これについては、担保されております。もうしっかりと、指導を進めていっております。

○委員長（原田素代君） 何を根拠に担保されてるとおっしゃるのがわからないんですが、もう既に運営事業者は公表されてます。この7月27日には設計・建設についての募集も詳細にかけています。そうすると、電話一本ですぐ通じますよね。何が担保で、禁じられてることが守られてるとおっしゃるのかだけは教えてください。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） 谷名課長。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） 5番につきましては、重々決定されました事業所には説明させていただいておりますし、それからそういったことに関しては覚書等、そういったことがございますということではっきりと署名をしていただくような仕組みづくりということをごさしていただいております。

○委員長（原田素代君） わかりました。

以上です。

そしたら、あとほかの方でここについて聞きたいというようなことがありましたら、どうぞ。

あとは、9月定例の委員会で議論を進めたいと思いたしています。

ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） そうしましたら、皆さんきょう出されました事業者選定の結果及び7月27日に出てる設計・建設事業者選定について、これはアップされてるもので、全ての建設

事業者さんでこれを一生懸命見てらっしゃると思うんですが、これによく目を通した上で今度の委員会に臨んでいただきたいなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

そうしましたら、一応きょう。

以上でよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君）　じゃあ、その他に入ります。

○市民生活部長（作本直美君）　はい、委員長。

○委員長（原田素代君）　はい、作本部長。

○市民生活部長（作本直美君）　それでは、委員の方々のお机の上にリーフレットが配られているかと思えます。御確認ください。

赤磐市では平成28年10月に連携中枢都市である岡山市と連携協約を締結しておりまして、岡山市を含む8市5町で構成する岡山連携中枢都市圏に参加しているところでございます。このたび、岡山連携中枢都市圏の取り組みを幅広く周知するというところで、こちらのリーフレットが完成しているということでございます。総合政策部の秘書企画課のほうからこちらのほう皆様のお手元にお配りして、よくごらんいただくようにということでございますので、御案内をさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（原田素代君）　じゃあ、その他、ほかにありましたらお願いします。

○副委員長（福木京子君）　はい。

○委員長（原田素代君）　はい。

○副委員長（福木京子君）　厚生のところを少し、ちょっとだけこれ。いい、もうこれ見ときなさいということですね。厚生関係は、前説明してくれた。

○保健福祉部参与兼介護保険課長（藤原康子君）　はい、委員長。

○委員長（原田素代君）　はい、藤原参与。

○保健福祉部参与兼介護保険課長（藤原康子君）　厚生関係で、済みません。連携分野の圏域全体の生活関連機能サービスの向上の在宅医療、介護の推進というところで、介護保険課のほうそこに加わって中心になってさせていただいております。そこにつきましては、在宅医療、介護連携とありますけれども、うちの介護保険がかかわっていることにつきましては、介護保険計画の策定についていろいろな広い分野で考えていけないといけないというところで参加させていただいているところは岡山と備前ではありますけれども、昨年度からいろいろとどのように進めていくかという会議のほう、打ち合わせをさせていただいております。そして、これに関して介護保険についても医療というものの関連がございますので、国保医療の部分の国保で後期高齢とか国保の分でいろいろと資料のほうを国保連のほうに蓄積されていらっしゃいます。その資料についてどう分析して、私どもの医療の分野、赤磐市の医療のかかり方だとか、

そしてどのような疾患が多いのか、どのようにそのものを見ていけばいいのかというような研修をこの9月1日に行います。もちろん、うちのここに参加してます3市だけではなくって、ほかの市町村も関連の方々にお勉強できればということで、そこに関しましては川崎医療福祉大学の先生にもいろいろ御助言をいただきながら、まずことしについては9月1日に研修をさせていただく。そしてまた、3市が連携しておりますので、介護保険が担当させていただいてます医療・介護連携推進事業でいろいろと専門職種の研修を行うということを各3市もやっております。何らかほかの3市の隣接もしておりますので、ほかの職種の方々が例えば岡山市に研修をしたら行かせていただくとかということで、職種というか専門職種の知識の向上を図るということも連携をさせていただいてるということで、まとまりませんが、今の状況を報告させていただきます。

子育てについて……。

○委員長（原田素代君） それだけ。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、戸川課長。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） 子育て支援課の関係としましては、子育て支援の充実ということで、保育園等の広域入所の円滑な実施に向けての取り組みというところで連携をさせていただくようになっております。広域入所につきましては、現在市町村が保育を実施するのが法令で定められていますので、岡山市と赤磐市とが広域の子供さん1人お預かりするに当たって、赤磐市長と岡山市長が契約を交わしてお預かりをするような形になります。大変事務処理に日数も要するので、そういったところも事務的なところが簡素化できていけたらなということと、それから赤磐市につきましては広域については通勤の時間ですとか、里帰り出産ですとか、ある程度の一定の条件を設けております。その辺の条件についても関係の市町村とすり合わせを行っているところでございます。

以上です。

○委員長（原田素代君） 病児保育は、やってらっしゃるんじゃないですか。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、戸川課長。

○子育て支援課長（戸川邦彦君） こちらの今委員長がおっしゃられた病児保育につきましては、今、広域で岡山県が連携して取り組もうという形で医療機関を中心に受け入れを、こちらにつきましては岡山市に限らず、県内の参加する市町村でそれぞれに医療機関がある病児の子供さんを受け入れる体制をとっていますよという医療機関がありますので、赤磐市から倉敷市も利用も可能ですし、それから御津のほうも利用も可能ですし、そういったものは現在のところ県の主導で連携をさせていただいております。

○市民生活部長（作本直美君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） 作本部長。

○市民生活部長（作本直美君） 厚生との関係で市民生活部で申し上げますと、こちらのほうの表で、協働推進課が市民活動の広域展開と市民協働の推進、後ろの最終ページに赤磐市が参加しているところ黒印がございますけれども、そちらのほうと、あと環境のほうで河川環境保全の推進、安定したごみ処理の推進ということでございます。環境の河川環境保全の推進につきましては、10月にエコツアーというものを企画しておりまして、そちらのほう岡山市等と連携をとって進めているところでございます。あと、安定したごみ処理の推進につきましては、先日環境センターの修繕に伴いまして、岡山市へのごみを持ち出しさせていただき、そのあたりで非常に協力体制をとっていただいております。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） そのぐらいでよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） 以上です。

それでは、次のその他に行きましょうか。

私のほうから言うの。岩本さんのほうからそういう申し出をしていただいたほうがいいんじゃないですか。

○保健福祉部長（岩本武明君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、岩本部長。

○保健福祉部長（岩本武明君） これから以降の話につきまして、協議会のほうで審議いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（原田素代君） あの。

○保健福祉部長（岩本武明君） いいですか。どう言やあええですか。

○委員長（原田素代君） 労連が出された刊行物についての説明を求めたので、執行部のほうは協議会のほうに切りかえていただきたいという要望でしたので、それを認めております。

○議会事務局長（奥田吉男君） 一旦、終わってから。

○議長（金谷文則君） 一遍閉めてから、協議会したほうがええんじゃないねん。

○委員長（原田素代君） そういうふうにはさっき確認してないんだけど、その他の最後で協議会をしようという話をしたんだけど、どっちがいいですか。

○議会事務局長（奥田吉男君） いや、協議会なら一応委員会を閉めていただいて……。

○委員長（原田素代君） 閉めてからのほうがいいですか。

○議会事務局長（奥田吉男君） 協議会をしていただいて。

○委員長（原田素代君） わかりました。

それでは、とりあえず本日の厚生常任委員会は以上で。

○議会事務局長（奥田吉男君） 決算特別委員会。

○委員長（原田素代君） そうか、そうか。

○議会事務局長（奥田吉男君） 人選を2人。

○委員長（原田素代君） 済いません、一つ宿題がございました。

9月に行われます決算審査特別委員会がございます。それぞれの委員会から2名、決算委員を選出することになります。皆さんのほうからぜひという御意向があれば。

○委員（岡崎達義君） 委員長、副委員長でお願いします。

○委員長（原田素代君） そんなことは、あなたが先に言っちゃいけない。

どうですか。おやりになりたい方は、どうぞ手を挙げていただいて、勉強になると思いますので。2日間あります、いや場合によっては3日になるかもしれません、一応2日間。おやりになりたい方いませんか。傍聴より参加したほうが楽しいと思いますが、できるもんなら。

岡崎さん、やらないんですか。

○委員（岡崎達義君） 私ずっとやってた。

○委員長（原田素代君） もう大分前のずっとでしょう。最近は、ずっとやってないですよ。

○委員（岡崎達義君） やってた。

○委員長（原田素代君） そうですか。

いいですか。

○委員（岡崎達義君） お願いいたします。

○委員長（原田素代君） 福木さん、受けてくれますか。

皆さん消極的なので。そしたら、じゃあ委員長、副委員長で決算委員として審議をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

じゃあ、以上をもちまして第7回厚生常任委員会を閉会させていただきます。

閉会の御挨拶を市長からよろしくお願いいたします。

○市長（友實武則君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、市長。

○市長（友實武則君） たくさんの案件ございましたが、御協議ありがとうございます。引き続き御指導、御鞭撻のほうよろしく願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

午前11時37分 閉会